学校番号	２０７

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選古典Ｂ　新版」（東京書籍）						
副教材等	「新明説総合古典文法」（尚文出版）						

１ 担当者からのメッセージ

・１年生で学んだ古典の基礎力を定着させ、さらに伸ばしていくことを心がけましょう。
・２年生では、文法を深く勉強していきます。暗記する項目も多くなるので、授業を大切にし、一回一回の授業で内容を理解するように心がけましょう。
・できるだけ親しみやすく、興味を引く古文と漢文の作品を読んでいきますが、やや難解なものもあります。内容を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けましょう。
・定期考査は学習計画を立てて臨むようにしてください。

２ 学習の到達目標

・古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることにより人生を豊かにする態度を身につけることができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、プリント等）			記述の確認及び分析（プリント） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、プリント等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	説話Ⅰ	【古文】 教材: ・『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」 ・『古今著聞集』 「能は歌詠み」 ・『唐物語』 「割り持ちたる鏡」 文法等…助動詞・敬語	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	軍記物語	【古文】 教材: ・『平家物語』 「忠度の都落ち」 「壇の浦の合戦」 文法等…助動詞・敬語	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	随筆Ⅰ	【古文】 教材: ・『枕草子』 「九月ばかり」 「すさまじきもの」 「中納言参り給ひて」 「宮に初めて参りたるころ」 「雪のいと高う降りたるを」 文法等…助動詞	○				○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察 e:小テスト及び定期考査

	物語Ⅰ	【古文】 教材: ・『伊勢物語』 「初冠」 「すける物思い」 「渚の院」 「つひにゆく道」 ・『大和物語』 「姨捨」 文法等…助動詞	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	日記1	【古文】 教材: ・『更級日記』 「門出」 「物語」 ・『蜻蛉日記』 「なげきつつひとり寝る夜」 「あまぐもにそる鷹」 文法等…助動詞	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	随筆2	【古文】 教材: ・『方丈記』 「安元の大火」 ・『徒然草』 「家居のつきづきしく」 「悲田院の尭連連上人は」 「世に従はん人は」 「花は盛りに」 ・『玉勝間』 「兼好法師が詞のあげつらひ」 文法等…助動詞	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	小話	【漢文】 教材: 「先従隗始」 「不死之薬」 「完璧而帰」 「漱石枕流」 「創業守成」 文法等…句法	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	文1	【漢文】 教材: 「漁父辞」 「春夜宴桃李園序」 文法等…句法	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	史記1	【漢文】 教材: ・『史記』 「鴻門之会」 「四面楚歌」 「項王自刎」 「吾所以有天下者何」 文法等…句法	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	詩2	【漢文】 教材: 「桃夭」 「行行重行行」 「野田黄雀行」 「飲酒」 文法等…句法	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	思想1	【漢文】 教材: 「吾道一以貫之」 「仁人心也、義人路也」 「性之善也、猶水之就下」 「人之性悪」 「大道廃、有仁義」 「無用之用」 「曳尾於塗中」 文法等…句法	○				○	a:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。 e:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察 e:記述の確認及び定期考査
	詩1	【漢文】 教材: 「宿建徳江」 「鹿柴」 「秋風引」 「登楽遊原」 「涼洲詞」 「江南春」 「杜少府之任蜀州」 「黄鶴楼」 「桂林荘雑詠示諸生」 文法等…句法	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説1	【漢文】 教材: 「小事了了」 「長安何如日遠」 「夜行逢鬼」 文法等…句法	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

3学期	詩歌	【古文】 教材: 「万葉秀歌」 「王朝秀歌」 ・『梁塵秘抄』 ・『閑吟集』	○				○	a:話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち,根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べるようとしている e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 e:記述の確認及び定期考査
	物語2	【古文】 教材: ・『大鏡』 「道真の左遷」 「花山天皇の出家」 「道長、伊周の競射」 「三船の才」 「肝試し」 言語活動③ 道真伝説を調べる ・『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「若紫」 文法等…助動詞	○				○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察 e:小テスト及び定期考査
	近世の文章1	【古文】 教材: ・『世間胸算用』 「小判は寝姿の夢」 文法等…助動詞	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。